平成 20 年度燧灘卵稚仔調査

第 9 回

平成 20 年 8 月 14 日

カタクチイワシ卵の出現状況（燧灘）

前回よりも減少したが，前年及び平年値（25.9 個）より多かった。

前年	平成 19 年 8 月 15 日（17 点の平均）	26.18	個
前回	平成 20 年 8 月 5 日（6 点の平均）	60.83	個
今回	平成 20 年 8 月 13 日（17 点の平均）	44.41	個

カタクチイワシ稚仔魚の出現状況（燧灘）

前回よりも大きく減少した。

前年	平成 19 年 8 月 15 日（17 点の平均）	12.53	尾
前回	平成 20 年 8 月 5 日（6 点の平均）	55.5	尾
今回	平成 20 年 8 月 14 日（17 点の平均）	4.29	尾

プランクトン調査（燧灘）

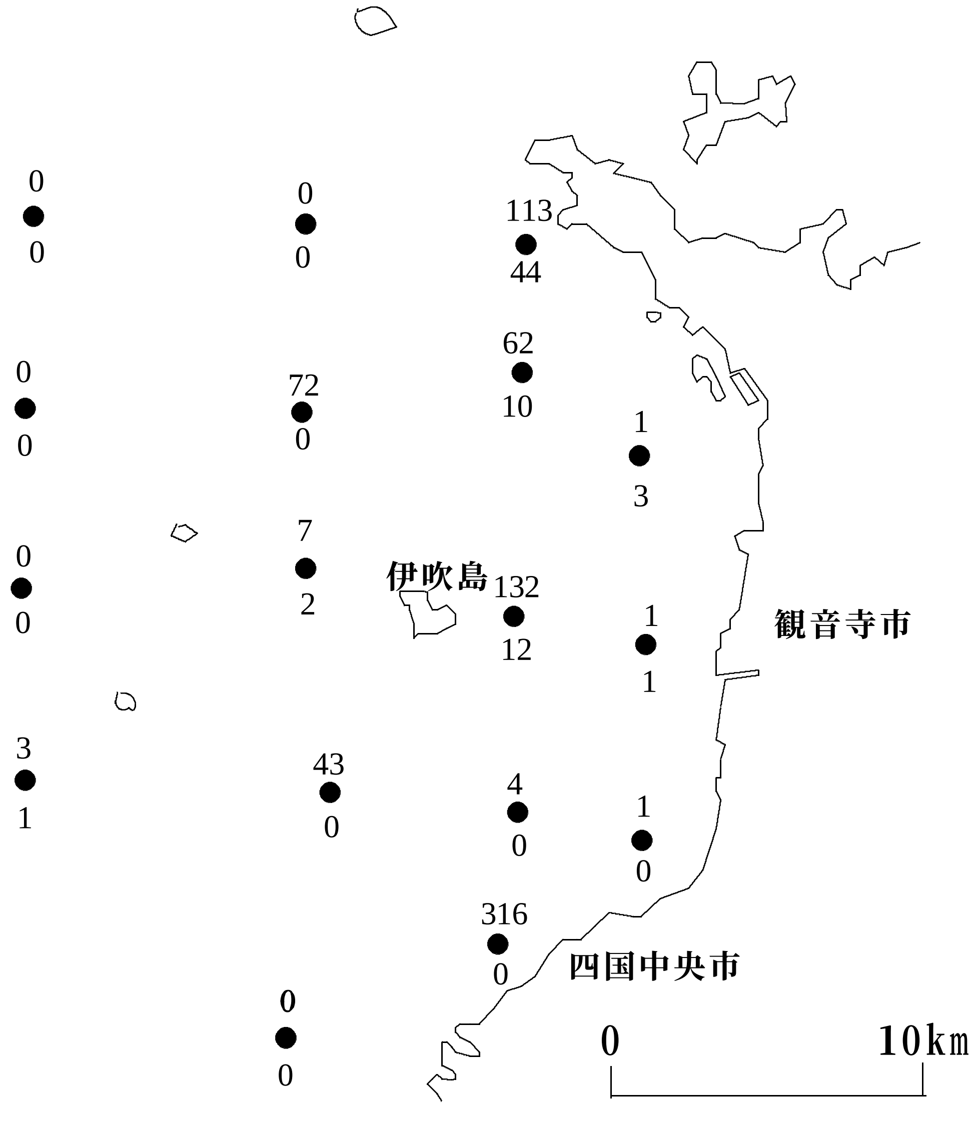
全定点を通じて優占種はウミタルと管クラゲ類であった。餌として価値のあるカイアシ類は非常に少なかった。

魚探調査（燧灘）

定点を含む調査経路上では魚群は確認できなかった。

次回の調査は 9 月 1 日（月）の浅海定線調査に合わせて実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況（8.13）



凡例

●の上側はカタクチ卵数

下側はカタクチ稚仔数を

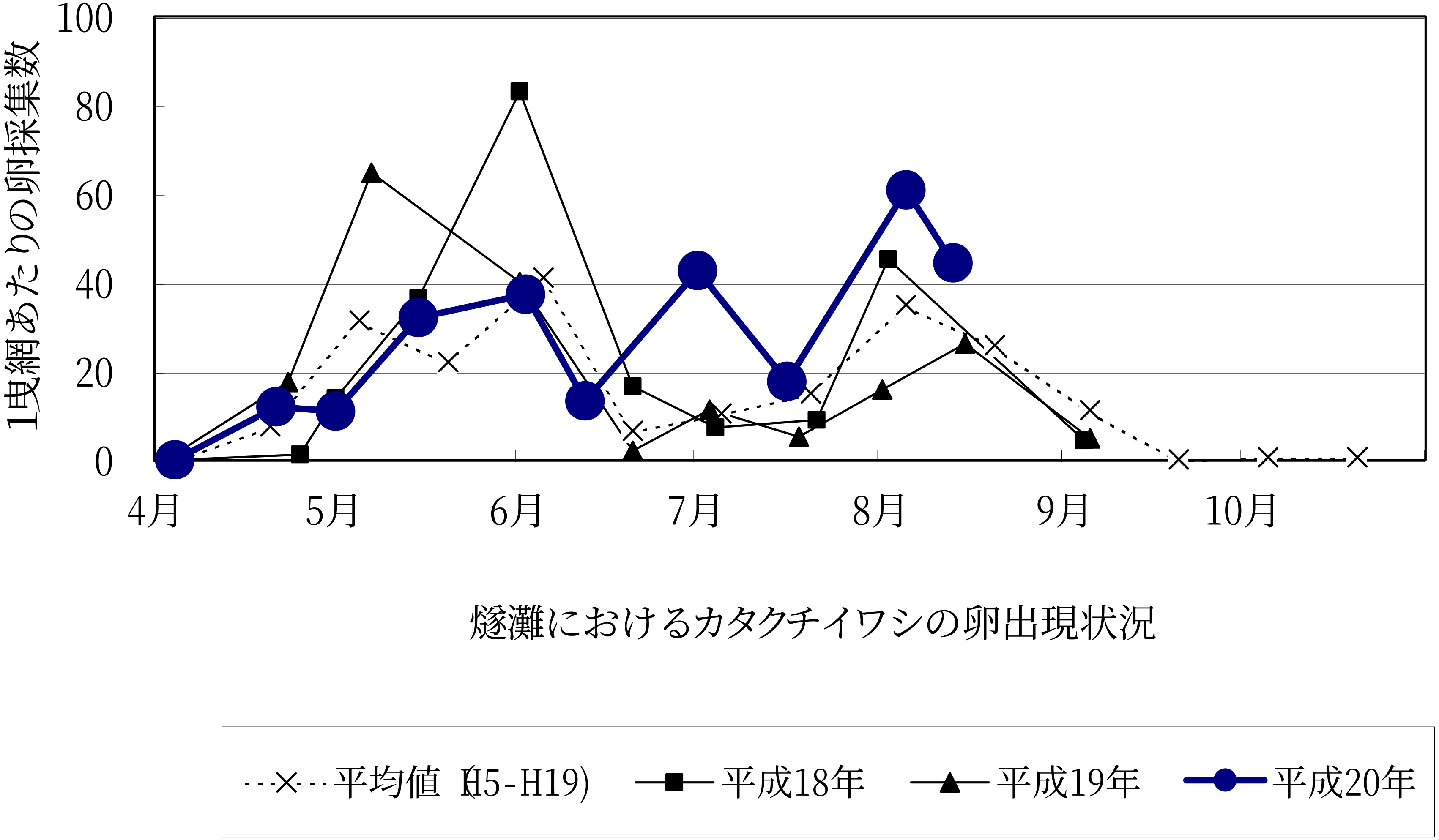
示す。いずれも１曳網

当りの数

１１←　卵数

●

０←　稚仔数



燧灘におけるカタクチイワシの卵出現状況

平成20年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査（9回目）

8月13日

ＳＴ	曳網水深(m)	表水温(℃)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ稚仔	マイワシ稚仔	その他稚仔
H1	20	30.9	113	0	10	44	0	13
H2	20	30.9	62	0	1	10	0	1
S1	20	30.8	1	0	1	3	0	3
S2	20	30.6	1	0	0	1	0	5
H3	20	30.4	132	0	0	12	0	5
S3	20	30.9	1	0	1	0	0	6
H4	20	30.1	4	0	10	0	0	9
H5	20	30.3	316	0	15	0	0	8
S10	20	30.1	0	0	6	0	0	5
H6	20	30.1	43	0	1	0	0	4
H7	20	29.4	7	0	1	2	0	1
S7	20	29.3	72	0	0	0	0	1
S11	20	29.4	0	0	0	0	0	9
S12	20	28.8	0	0	13	0	0	10
S13	20	28.6	0	0	0	0	0	1
S14	20	29.8	0	0	0	0	0	4
S15	20	29.4	3	0	0	1	0	4
合計			755	0	59	73	0	89
6点平均		30.2	94.0	0.0	4.7	4.0	0.0	4.7
平均		30.0	44.41	0.00	3.47	4.29	0.00	5.24

※6点平均は浅海定線調査を行っているH2～H7の平均